

(1) 実施機関名：

産業技術総合研究所

(2) 研究課題（または観測項目）名：

津波浸水履歴情報の整備

(3) 関連の深い建議の項目：

1 地震・火山現象の解明のための研究

- (1) 地震・火山現象に関する史料・考古データ、地質データ等の収集と解析
- ウ. 地質データ等の収集・集成と分析

(4) その他関連する建議の項目：

(5) 総合的研究との関連：

(6) 平成30年度までの関連する研究成果（または観測実績）の概要：

平成30年度までの課題5001「津波浸水履歴情報の整備」の継続課題である。

これまでに整備できた地域は、地質柱状図および869年貞観地震の推定津波浸水域が宮城県（石巻平野、仙台平野）と福島県（南相馬小高）、地質柱状図が青森県（東通、六ヶ所、三沢）、福島県（相馬、富岡、いわき）、茨城県（日立十王）、静岡県（沼津、掛川、湖西）、三重県（志摩、南伊勢、紀北、熊野）、和歌山（新宮、日高）、高知県（四万十興津）である。

(7) 本課題の5か年の到達目標：

産業技術総合研究所が実施した津波堆積物調査の地点および論文公表した地質柱状図のデータについて、最新の情報を迅速に公開できるよう整備する。また地質情報に基づいた津波浸水計算結果について、表示できる地域を増やしていく。

(8) 本課題の5か年計画の概要：

地質情報については、おもに調査が進められている南海トラフ沿いを中心に、論文公表したデータから随時公開していく。また津波浸水計算結果については、おもに千島-日本海溝沿いの沿岸低地について整備を進める。

(9) 実施機関の参加者氏名または部署等名：

活断層・火山研究部門 海溝型地震履歴研究グループ

他機関との共同研究の有無：無

(10) 公開時にホームページに掲載する問い合わせ先

部署名等：活断層・火山研究部門 海溝型地震履歴研究グループ

電話：029-861-3691

e-mail：

URL：<https://unit.aist.go.jp/ievg/group/subducteq/index.html>

(11) この研究課題（または観測項目）の連絡担当者

氏名：澤井祐紀

所属：活断層・火山研究部門 海溝型地震履歴研究グループ 電話